

## 令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立港中学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

本年度も港中学校による自己評価は、きめ細かい分析に基づく評価であり、過大評価もなく、十分に時間をかけて協議と考察が行われた妥当な評価である。

学力について、2年生チャレンジテスト（国語、数学）、1年生チャレンジテスト（数学）の結果において、大阪府平均を上回ることができた。継続した授業改革と様々な研修会、取り組みの成果があったと考える。

いじめ対応も迅速に進めており、安全・安心な教育の推進に努められていることが確認できた。しかしながら、不登校生徒の割合は増加しており、校内における別室登校支援など引き続き丁寧な対応を継続して行って欲しい。

体力について、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、2年生の男女ともに体力合計点では全国、大阪市の平均を上回る結果となった。

## 2 年度目標ごとの評価

## 【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を95%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
- 生徒アンケートにおいて「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査における「学校の規則を守っていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を97%以上にする。
- 生徒アンケートにおいて「自分には、良いところがありますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。

## 【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を50%（昨年46%以上）以上にする。
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント向上させる。
- 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を男女とも65%（昨年62%）以上にする。
- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比0.96（昨年0.95）以上にする。
- CEFR A1 レベル（英検3級）相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を51%

(昨年 50%以上) にする。

**【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】**

- 一人一台端末稼働率 80%以上の日を授業日数の半数以上にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限（月 45 時間）に関する基準を満たす教職員の割合を 65%にする。
- 長期休業中における開庁日を土日祝日を含め連続 5 日以上を設定する。
- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 70%以上にする。

3 今後の学校の運営についての意見

**【安全・安心な教育の推進】**

生徒アンケートにおいて

「学校に行くのは楽しいと思えますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合は 85.7%、  
「学校の規則を守っていますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合は 95.9%、  
「自分には良いところがありますか」の問いに肯定的に回答する生徒の割合は 82.3%、  
「いじめはいかなる理由でもだめである」の問いに最も肯定的に回答する生徒は 85.7%であった。いじめに対する認識や、自己肯定感の育成にも視点を移し、さらに「安全・安心な教育を推進」するために、様々な取り組みを期待いたします。

**【未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

R7 全国学力・学習状況調査の結果は、全国比 0.89 であった。昨年度は 0.95 であったため、母体は違うが低下した。3 年生チャレンジテストでは、対府比 0.93 であった。昨年度、0.89 であったため、伸びている。

CEFR A1 レベル（英検 3 級）相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）は、49%で、昨年度 51%でしたので、若干低下した。英語力向上に向けて、継続的な取り組みを進めてほしい。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対しては肯定的に回答する生徒の割合が男子 95.6%、女子 84%と運動に対する意識が高いので、体力合計点において、全国平均より男子+6.44 点、女子+5.34 点上回る結果となった。目標値に届く結果となった。

1・2 年生のチャレンジテストについては、大阪府平均を上回る教科もあり、授業規律を含め丁寧な授業をされていることが伺える。

**【学びを支える教育環境の充実】**

一人一台端末稼働率 80%以上の日を授業日数の半数以上にするという目標に対して、1 2 月末 79.5%、授業日数の半数以上は 60.0%と目標を達成できた。

「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限（月 45 時間）に関する基準を満たす教職員の割合を 65%にするという目標に対して、1 2 月末において、月 4 5 時間の基準を満たす割合は 58.62%で目標に達していない。

長期休業中における開庁日を土日祝日を含め連続 5 日以上を設定するという目標に対して、夏季休業中は連続 9 日間、冬季休業中は連続 10 日間実施し目標値を達成できた。以上の結果を報告した。

今後の取り組みについては

- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員の時間外勤務の削減を意識した取り組みを進めていく。
- ・ICT 機器を活用した学習とともに、教員の働き方改革にリンクした学習活動を進めていく。以上を確認した。

### 3 今後の学校の運営についての意見

今年度も実施された全国学力・学習状況調査やチャレンジテストでの結果において、大阪府平均を上回る教科があり、先生方の努力が伺える。年々、比較する生徒が変化するが学力が全体的に上向き傾向にあるため、この状況をぜひ継続してほしい。特に、家庭学習の定着や読書習慣の向上など、様々な取り組みを継続的に実施してほしい。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、2年生の男女ともに全国、大阪市の体力合計点を上回る結果となった。部活動の加入率が近年、高くない中でこの結果となっているのは、運動に興味関心が高い生徒が増えているのか、授業を丁寧に行っているのか、今後も継続してほしい。

不登校生について、港区の事業としてアウトリーチなどを活用し、様々な形で支援している。さらに一人ひとりに合った学習保障を継続して行っていく。そのために1人一台端末を活用し、学習環境の整備と提供を行う。

学校環境について、いじめについての対応を迅速かつ組織的に行っていく。今後も継続した取り組みと関係諸機関との連携に尽力し、さらなる安全・安心な学校づくりの実現を目指してほしい。あわせて、不登校生の対応が年々増加している課題があり、諸機関と連携を行い家庭や地域と協力して学校への登校や様々な繋がりを継続してほしい。